

2023年3月期 第1四半期（4-6月）
決算説明資料

酒井重工業株式会社

証券コード 6358

URL <https://www.sakainet.co.jp>

2022年8月10日

決算短信（サマリー情報）

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

（百万円未満切捨て）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	6,885	12.7	448	121.7	516	140.8	402	160.9	95.60	—
2022年3月期第1四半期	6,089	33.4	202	451.0	214	—	154	—	35.85	—

（注）包括利益 2023年3月期第1四半期 849百万円（200.2％） 2022年3月期第1四半期 283百万円（944.9％）

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	％	百万円	％	％	％
2023年3月期第1四半期	38,436		23,568		61.2	
2022年3月期	37,858		23,161		61.1	

（参考）自己資本 2023年3月期第1四半期 23,517百万円 2022年3月期 23,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	60.00	—	105.00	165.00
2023年3月期	—				
2023年3月期（予想）		80.00	—	85.00	165.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	14,000	7.8	650	△10.4	625	△14.7	400	△21.4	94.41
通期	29,300	10.2	1,500	8.4	1,450	3.0	950	△33.4	224.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

連結業績ハイライト

1. 第1四半期業績の概要

- 1) **連結売上高： 6,865百万円（前年同期比12.7%増）**
 サプライチェーン問題こなし海外販売を拡大
- 2) **営業利益： 448百万円（前年同期比2.2倍）**
 海外事業を中心に収益構造改革が進展
- 3) **国内販売： 2,811百万円（前年同期比1.7%増）**
 国土強靱化加速化対策を背景として堅調な販売が継続
- 4) **北米販売： 1,729百万円（前年同期比25.6%増）**
 好調な建設投資を背景として力強い需要回復が進展
- 5) **アジア販売： 2,184百万円（前年同期比22.6%増）**
 インドネシアが需要回復に転じ、ベトナム市場が好調に推移

連結業績ハイライト

2. 事業環境変化対応

1) 資本政策重視経営への脱皮

- (1) 中期経営方針策定：売上高 300億円、営業利益 31億円、ROE 8%
当第1四半期：売上高 68.6億円、営業利益 4.4億円、ROE6.9%
- (2) ESGとDXによる持続可能な経営体制づくり

2) 変化対応力

- (1) 需要変化対応
 - ・棚卸資産 7,458百万円（前年同期比10.2%増、棚卸回転数0.25回改善）
長納期部品の在庫水準見直しによる部品欠品リスク低減
- (2) 製品供給力強化
 - ・サプライチェーンの強靱化（調達先の見直しとデュアルソース化）
 - ・国内生産能力拡大（生産ラインの増強）
- (3) 生産部材・輸送費高騰に伴う収益構造改革
 - ・販売価格改定の浸透
 - ・効率改善による輸送コスト低減

連結業績ハイライト

3. 中長期成長戦略

- 1) **アジア市場深耕** インドネシア拠点を中核としたASEAN市場拡大。
- 2) **海外事業領域拡大** 道路維持機械の海外市場展開。
- 3) **北米市場開拓** ニッチマーケティングによるシェア拡大。
- 4) **次世代事業開発** 緊急ブレーキ、転圧管理システム、自律走行式ローラ。

4. 事業環境見通し

1) 国内

総額15兆円の防災・減災、国土強靱化の為の5カ年加速化対策を背景に堅調。

2) 海外

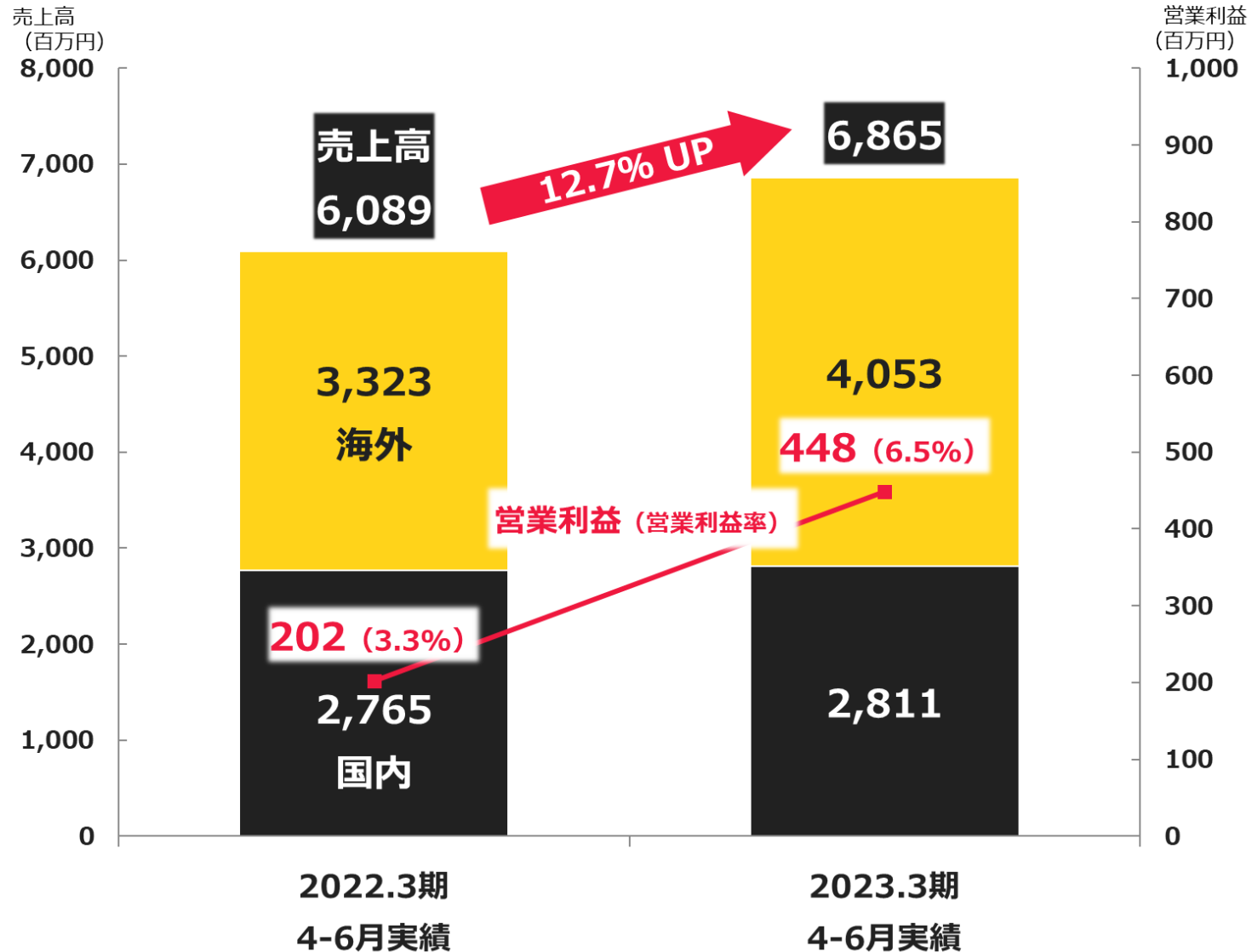
米国では、総額1兆2千億ドルのインフラ投資計画、ASEANや新興国でもインフラ投資拡大に景気刺激策拡大など、世界の建設機械需要は回復基調を維持。

連結業績

(単位：百万円)

	2022.3期 4-6月実績	2023.3期 4-6月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	6,089	6,865	775	12.7%
国内	2,765	2,811	45	1.7%
海外	3,323	4,053	729	22.0%
営業利益	202	448	246	121.7%
(営業利益率)	(3.3%)	(6.5%)		
経常利益	214	516	302	140.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	154	402	248	160.9%
(原価率)	(76.3%)	(74.4%)		

連結業績 (グラフ)



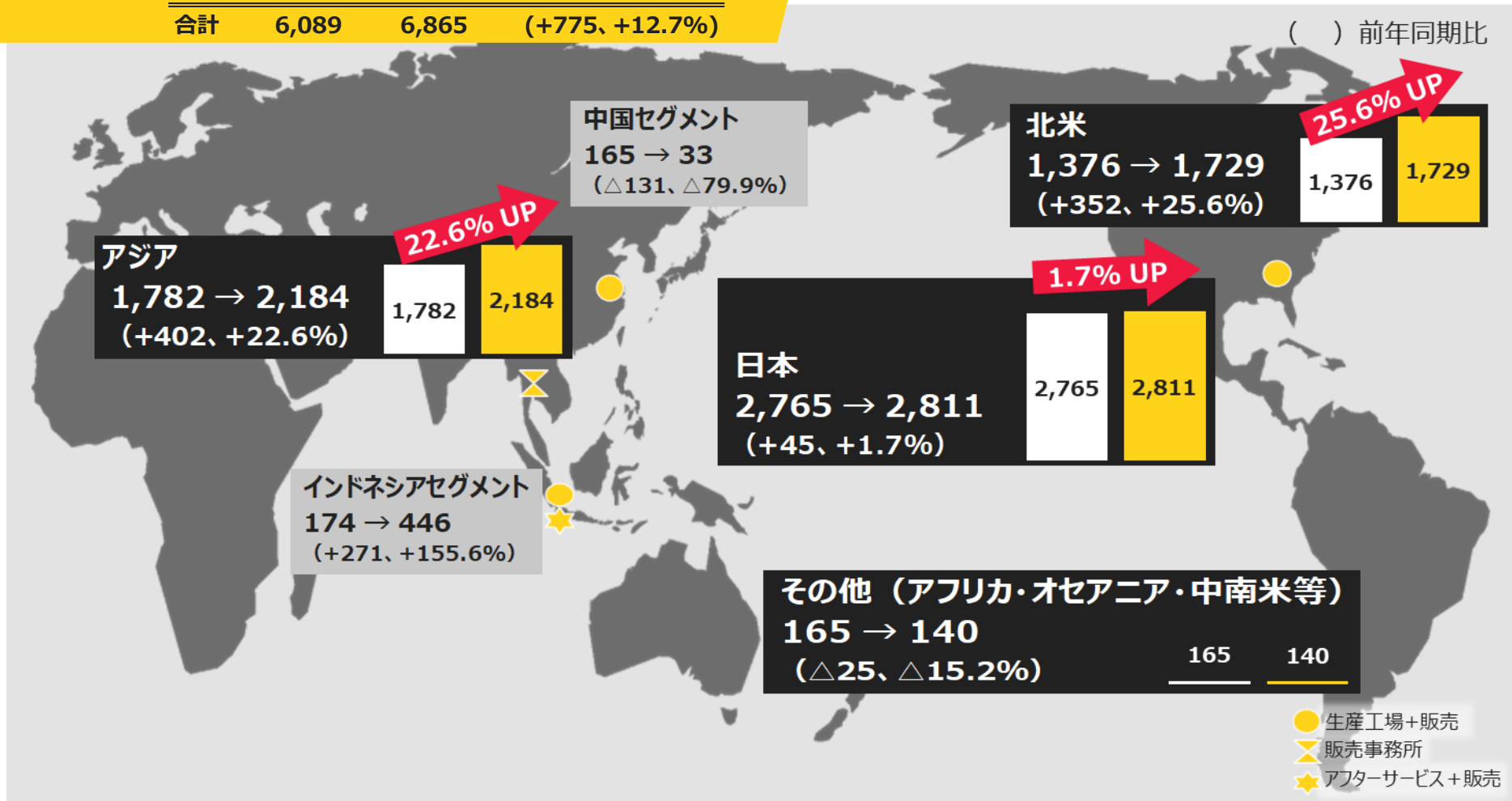
地域区分別売上高 (顧客の所在地別に分類)

(単位：百万円)

	2022.3期 4-6月実績	2023.3期 4-6月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
国内	2,765	2,811	45	1.7%
海外	3,323	4,053	729	22.0%
北米	1,376	1,729	352	25.6%
アジア	1,782	2,184	402	22.6%
その他	165	140	▲ 25	▲15.2%
合計	6,089	6,865	775	12.7%

地域区分別売上高（地図）

(単位：百万円)	22.3期 4-6月	23.3期 4-6月	前年同期比
国内	2,765	2,811	(+45、+1.7%)
海外	3,323	4,053	(+729、+22.0%)
合計	6,089	6,865	(+775、+12.7%)



所在地別セグメント (当社の生産・販売拠点別に分類)

(単位：百万円)

日本	2022.3期 4-6月実績	2023.3期 4-6月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	4,373	4,656	282	6.5%
内部売上高	412	705	293	71.2%
総売上高	4,785	5,362	576	12.0%
営業利益	100	90	▲ 9	▲9.2%

(単位：百万円)

北米	2022.3期 4-6月実績	2023.3期 4-6月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	1,376	1,729	352	25.6%
内部売上高	16	7	▲ 8	▲52.1%
総売上高	1,392	1,737	344	24.7%
営業利益	90	228	137	151.4%

(単位：百万円)

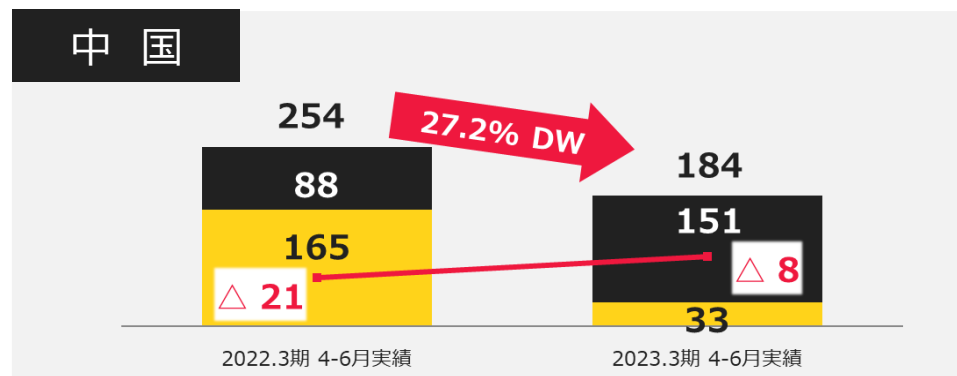
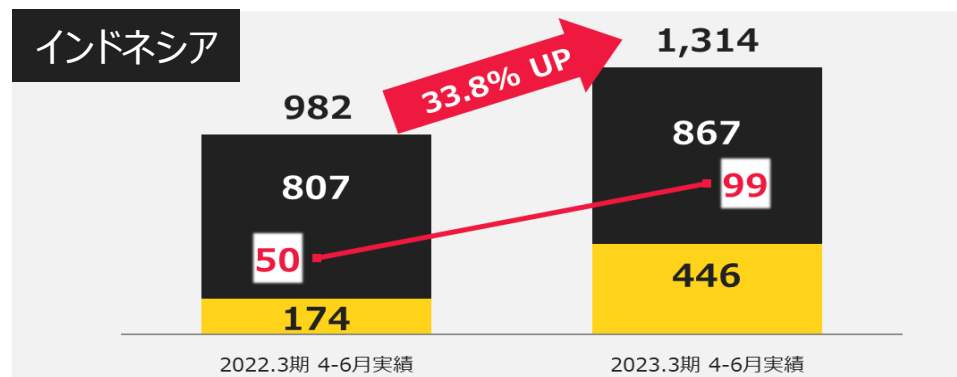
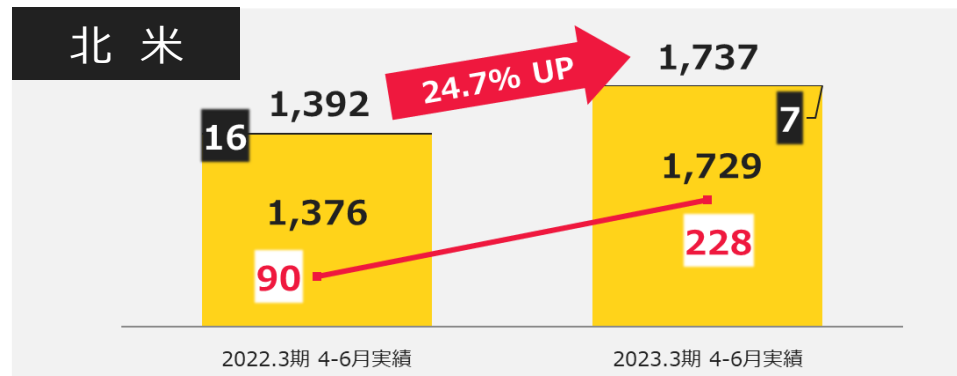
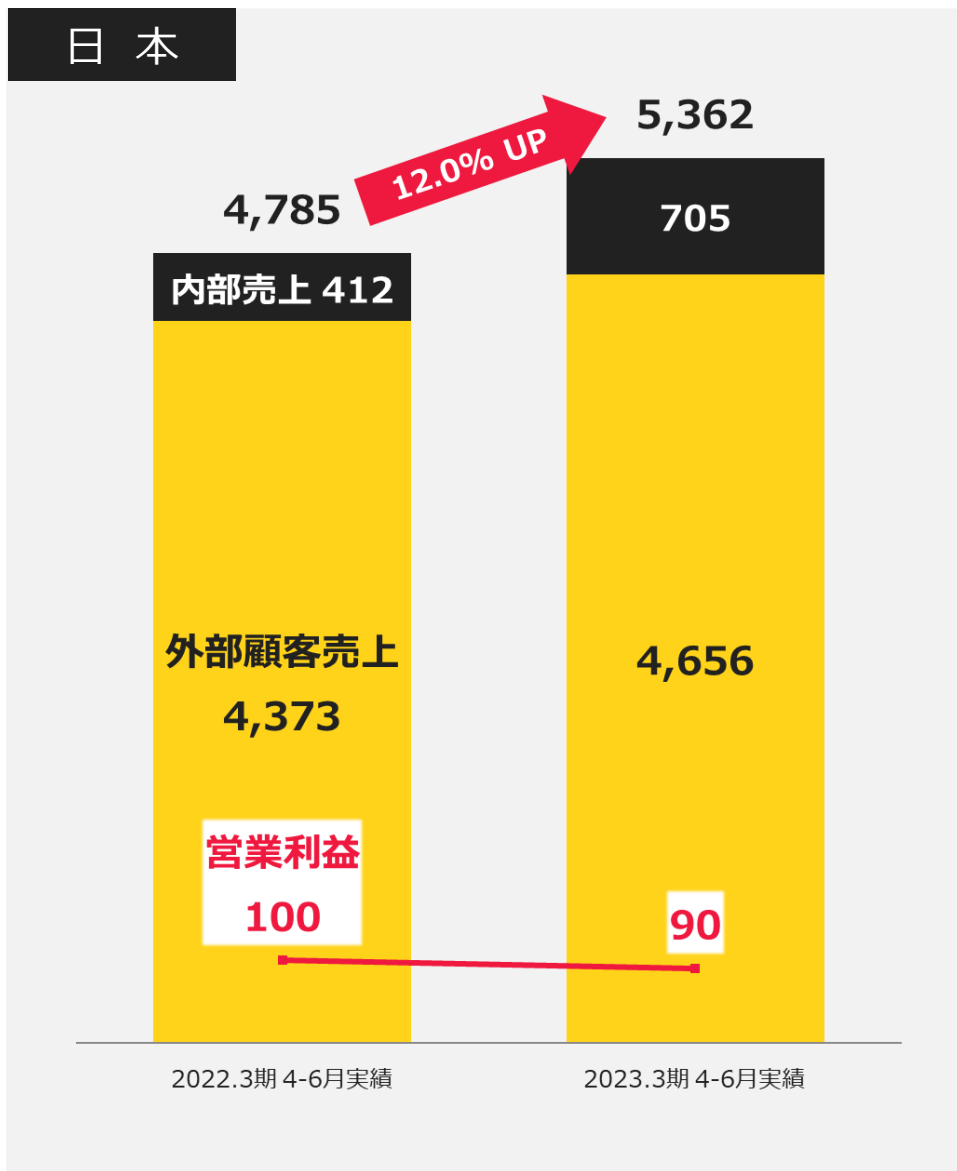
インドネシア	2022.3期 4-6月実績	2023.3期 4-6月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	174	446	271	155.6%
内部売上高	807	867	59	7.4%
総売上高	982	1,314	331	33.8%
営業利益	50	99	48	96.1%

(単位：百万円)

中国	2022.3期 4-6月実績	2023.3期 4-6月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	165	33	▲ 131	▲79.9%
内部売上高	88	151	62	70.5%
総売上高	254	184	▲ 69	▲27.2%
営業利益	▲ 21	▲ 8	13	- %

所在地別セグメント (グラフ)

(単位：百万円)



営業利益 増減要因

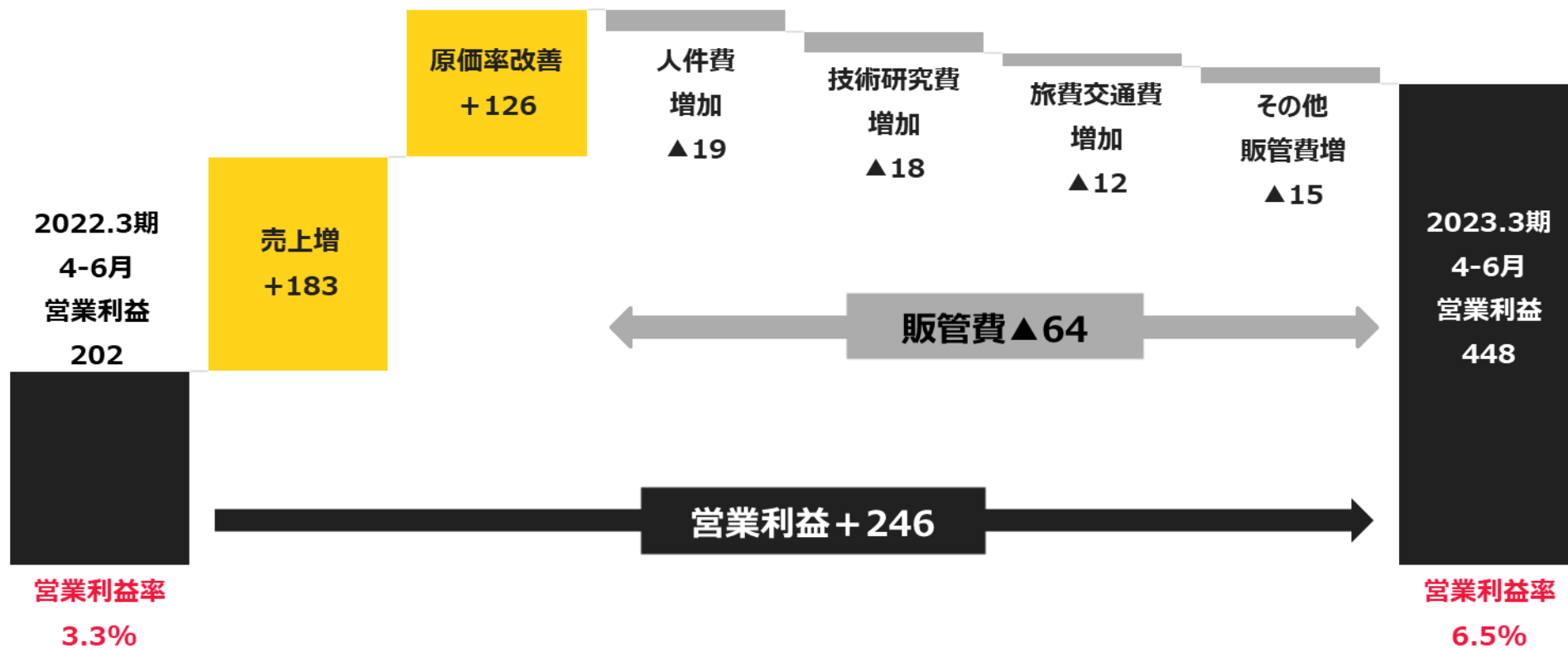
- 売上高を前年同期比775百万円増加させた結果、売上総利益は183百万円の増益
- 販価改定と物流効率化の結果、原価率は1.84%改善し、売上総利益は126百万円の増益
- 行動制約状態からの事業活動再開に伴い、販管費は64百万円の増加
- 結果として営業利益は、前年同期比246百万円増の448百万円

(単位：百万円)

	2022.3期 4-6月実績	2023.3期 4-6月実績	増減	営業利益への 影響額	備 考
売上高	6,089	6,865	775	+183	775 x (1 - 76.3%)
(原価率)	76.3%	74.4%	▲1.84%	+126	6,865 x ▲1.84%
売上総利益	1,443	1,754	310		
販管費	1,241	1,305	64	▲ 64	人件費+19、技術研究費+18 旅費交通費+12、その他販管費+15
営業利益	202	448		+246	

営業利益 増減要因 (グラフ)

(単位：百万円)



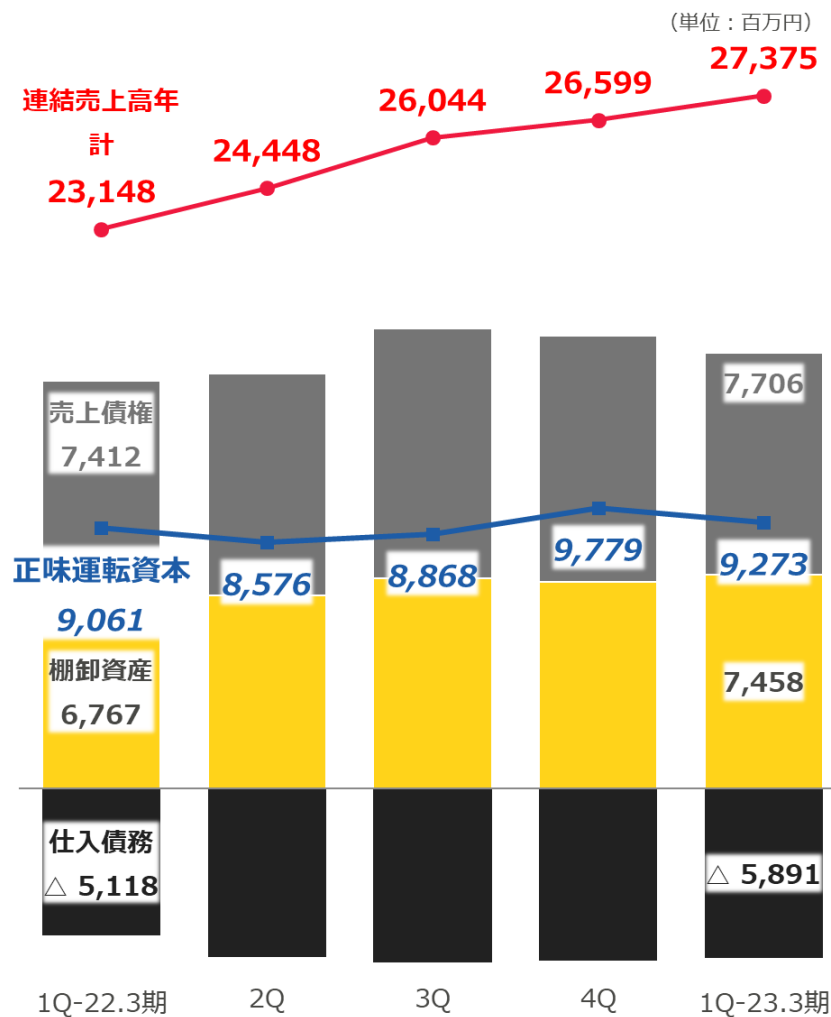
正味運転資本推移 (売上債権 + 棚卸資産 - 仕入債務)

- 営業上の投下運転資本は、前年同期比212百万円増の9,273百万円に増加
- 棚卸資産については、前年同期比691百万円増の7,458百万円に増加
- 売上高/棚卸資産回転数は、前年同期比0.25回改善して年間3.67回に向上

(単位：百万円)

	2022.3期	2023.3期	前年同期比	
	4-6月実績	4-6月実績	増減額	増減率
連結売上高 (年計)	23,148	27,375	4,227	18.3%
売上債権	7,412	7,706	294	4.0%
棚卸資産	6,767	7,458	691	10.2%
仕入債務	▲5,118	▲5,891	▲773	15.1%
正味運転資本	9,061	9,273	212	2.3%

棚卸回転数 3.42回 3.67回 0.25回



連結業績の予想

業績予想の変更はありません

- 世界的にインフラ投資が拡大する中、世界の建設機械需要は底堅い回復基調
- 更なる部材価格上昇とサプライチェーン見直し圧力の高まり
- 価格改定の浸透とコスト低減、収益構造改革を推進
- サプライチェーン強靱化と国内生産能力拡大による製品供給力強化
- 当期純利益は、一過性の繰延税金資産計上381百万円が剥落

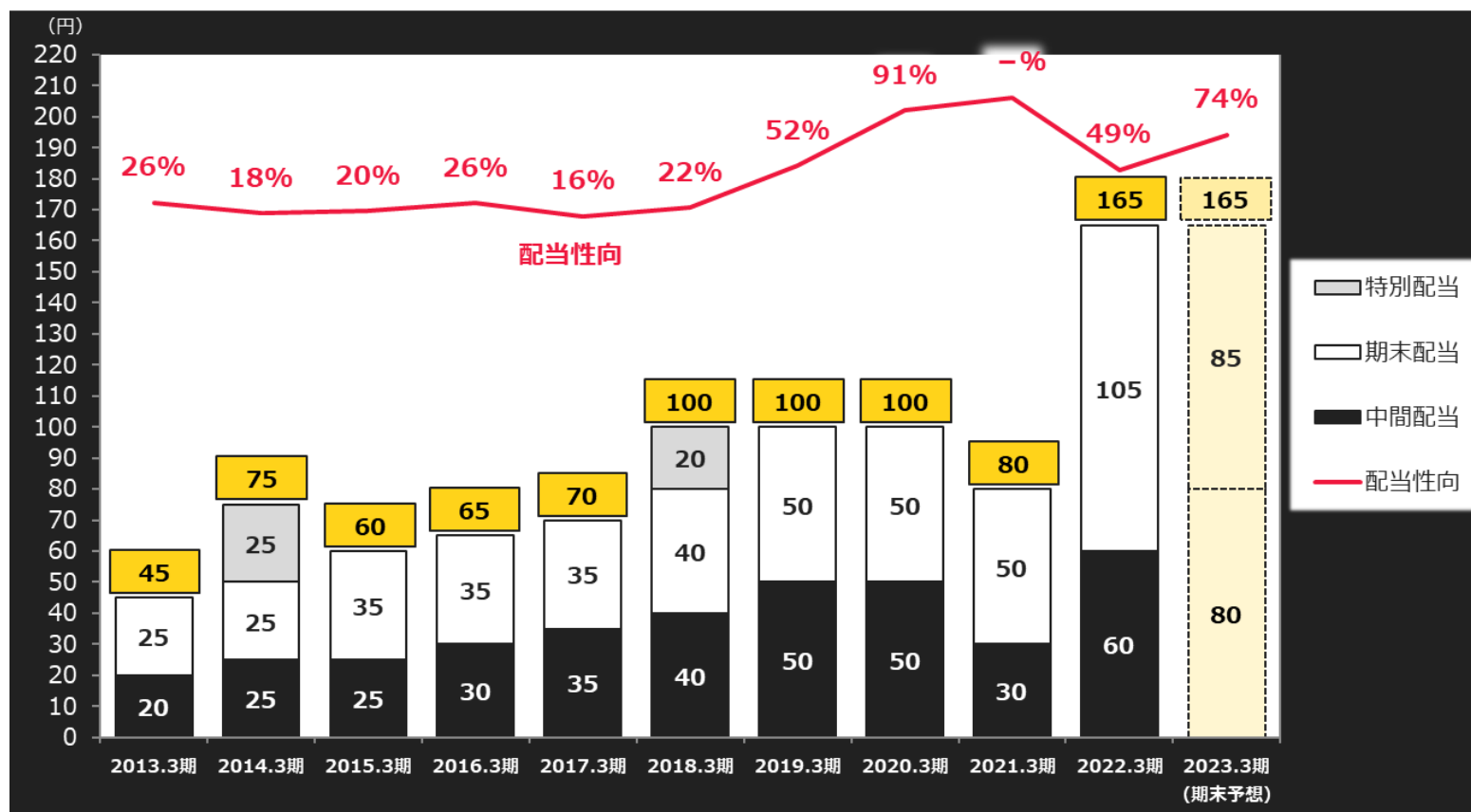
(単位：百万円)

	上期				通期			
	2022.3期 上期実績	2023.3期 上期予想	前年同期比		2022.3期 通期実績	2023.3期 通期予想	前年比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	12,987	14,000	1,012	7.8%	26,599	29,300	2,700	10.2%
営業利益	725	650	▲ 75	▲10.4%	1,383	1,500	116	8.4%
経常利益	732	625	▲ 107	▲14.7%	1,407	1,450	42	3.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	509	400	▲ 109	▲21.4%	1,427	950	▲ 477	▲33.4%
1株当たり純利益	119.52円	94.41円	▲ 25.11	▲21.0%	336.87円	224.22円	▲ 112.65	▲33.4%

配当金の状況

2021年6月2日の『中期的な当社経営方針』発表以降、ROE 8%を目標として、次の配当方針を掲げております。

- ROE 3%を下回る場合：配当性向100%の還元
- ROE 3%～6%の場合：DOE 3%の還元
- ROE 6%を超えた場合：配当性向50%の還元



注) 2017年10月1日をもって10株を1株に株式併合を実施いたしました。
株式併合前についても株式併合後に合わせて表示しております。

中期経営方針 KPI

- 売上高は中期計画2年度にして、計画を上回るペースで進捗中。
- エネルギー・部材価格の構造的上昇や物流費高騰による収益構造の悪化に対して営業利益率の改善ペースが遅れており、価格改定及びコスト低減による収益構造改革推進中。

(単位：百万円)

	2022.3期 4-6月実績	2023.3期 4-6月実績	2023.3期 通期予想	2024.3期 目標	2026.3期 目標
売上高	6,089	6,865	29,300	26,500	30,000
営業利益	202	448	1,500	2,000	3,100
年換算ROE（自己資本当期純利益率）※1	2.8%	6.9%	4.1%	5.5%	8.0%
自己株式取得（2026.3期まで）	—	—	340※2	500～2,000※3	

※1 年換算ROEは、対象決算期間に基づき年換算しております。

※2 2023.3期通期予想の自己株式取得については2022年8月10日現在で実行済みの金額を表示しております。

※3 2026.3期までの累積目標額です。

SAKAI

MASTERS OF COMPACTION

お問い合わせ

酒井重工業株式会社

I R室 吉川 孝郎

メール sakai.ir@sakainet.co.jp

TEL 03-3434-3401

FAX 03-3436-6513

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。